

# 栃木市斎場再整備事業に係る重要種保全調査

## 調査報告書

令和2年6月

栃木市斎場整備室

### 1. 調査の目的

「栃木市斎場再整備事業に係る環境影響評価」（平成 29 年度）において市が提示した重要種オオタカへの影響緩和策（人工代替巣の設置）の可否を判断するために平成 29 年調査で確認されたオオタカおよびサシバの事業地周辺における現況を把握することを目的とします。

### 2. 調査のポイント

本調査のポイントは次の 2 点です。

- ①オオタカは平成 29 年調査で確認された巣を現在も使っているか
- ②重要種（サシバ、オオタカ）が事業の影響の及ぶ範囲に新たに営巣していないか  
営巣する兆候はないか

### 3. 調査日

調査は次のように実施しました。

	調査日
第 1 回	令和 2 年 4 月 11 日、25 日
第 2 回	令和 2 年 5 月 5 日、7 日
第 3 回	令和 2 年 6 月 7 日、10 日

#### 4. 調査地点

調査地点を図-4 に示します。

##### 1) 調査地点 St.A

調査地点 St.A の選定理由は次の通りです。

- ①平成 29 年調査で確認されたオオタカの営巣木が良く見える
- ②平成 29 年の調査結果を踏まえ、サシバ、オオタカの子な活動区域（事業地西～北側の尾根・斜面）が良く見える

調査地点 St.A からの眺望を写真-1-1 に、営巣木を写真-1-2 に示します。



写真-1-1 調査地点 St.A からの眺望

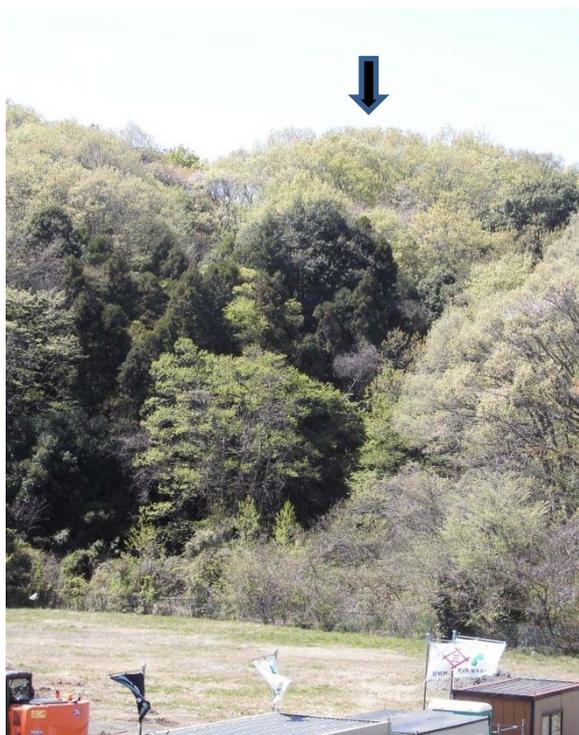


写真-1-2 営巣木

## 2) 調査地点 St.B

5月調査2日目から設定した調査地点 St.B の選定理由は次の通りです。

- ①4月、5月の調査結果より、オオタカは観察対象の営巣木を使用していないと思われる
- ②オオタカの事業地域での活動は見られず、観察対象はサシバに絞られる
- ③4月、5月の調査結果より判明したサシバの活動が活発な事業地北側奥の尾根・斜面が良く見える

調査地点 St.B からの眺望を写真-2 に示します。



写真-2 調査地点 St.B からの眺望

5. 調査結果

1) オオタカの巣の状況（撮影日：令和2年4月11日）



写真-3-1 オオタカの巣



写真-3-2 オオタカの巣（拡大）①



写真-3-3 オオタカの巣（拡大）②



写真-3-4 オオタカの巣（拡大、別角度）①

(参考) オオタカの巣の状況 (撮影日：平成 31 年 2 月 21 日)



写真-4-1 オオタカの巣 (拡大) ①



写真-4-2 オオタカの巣 (拡大、別角度) ①



写真-4-3 オオタカの巣 (拡大、別角度) ②

## 2) オオタカの巣の利用と活動状況

写真-3-1～写真-3-4 の状況によれば、巣は最近補強された様子はなく、使用されている形跡もありません。

参考に示した写真-4-1～写真-4-3 の平成 31 年 2 月の状況と較べても変化は見られず、それ以降、使用されたようには見えません。

営巣木の根元付近にペリット等の生息の痕跡も見られません。

4 月はオオタカの求愛・造巣期にあたり、雌雄の鳴き交わしや誇示行動・求愛行動が盛んな時期ですが、調査中、オオタカの鳴き声は聞かれず（平成 29 年 4 月の調査では鳴き声がしばしば聞かれました）、姿も観察されていません。

5 月の調査でも巣を使用した形跡は見られず、姿も観察されず、鳴き声も聞かれませんでした。（写真-5 参照）

さらに、6 月の調査でもオオタカは全く姿をみせませんでした。

以上の状況により、オオタカが事業地周辺に生息する可能性は低く、今シーズンこの巣を利用する可能性はないと考えられます。



写真-5 オオタカの巣の状況（撮影日：令和 2 年 5 月 7 日）

### 3) サシバの活動状況

確認されたサシバの行動を飛翔図(図-1、図-2-1-1～図-2-2-2、図-3)に示します。

サシバは事業地の北側を中心に盛んに活動しており、一つがいが繁殖活動中と思われます。

営巣していると思われる場所は、4月、5月、6月の調査結果から、図-4に示すあたりと思われます。

事業地とは標高150m前後の丘陵を隔てたエリアであり、少なくとも200m以上離れていますので、本事業の繁殖活動への影響は軽微であると思われます。

なお、平成29年の調査で確認された事業地内での採餌行動は、今回の調査では一度も確認されませんでした。事業地内を採餌に利用している可能性は低いと思われます。



写真-6 サシバのペアが良く利用する枯れ木

### 6. 結論

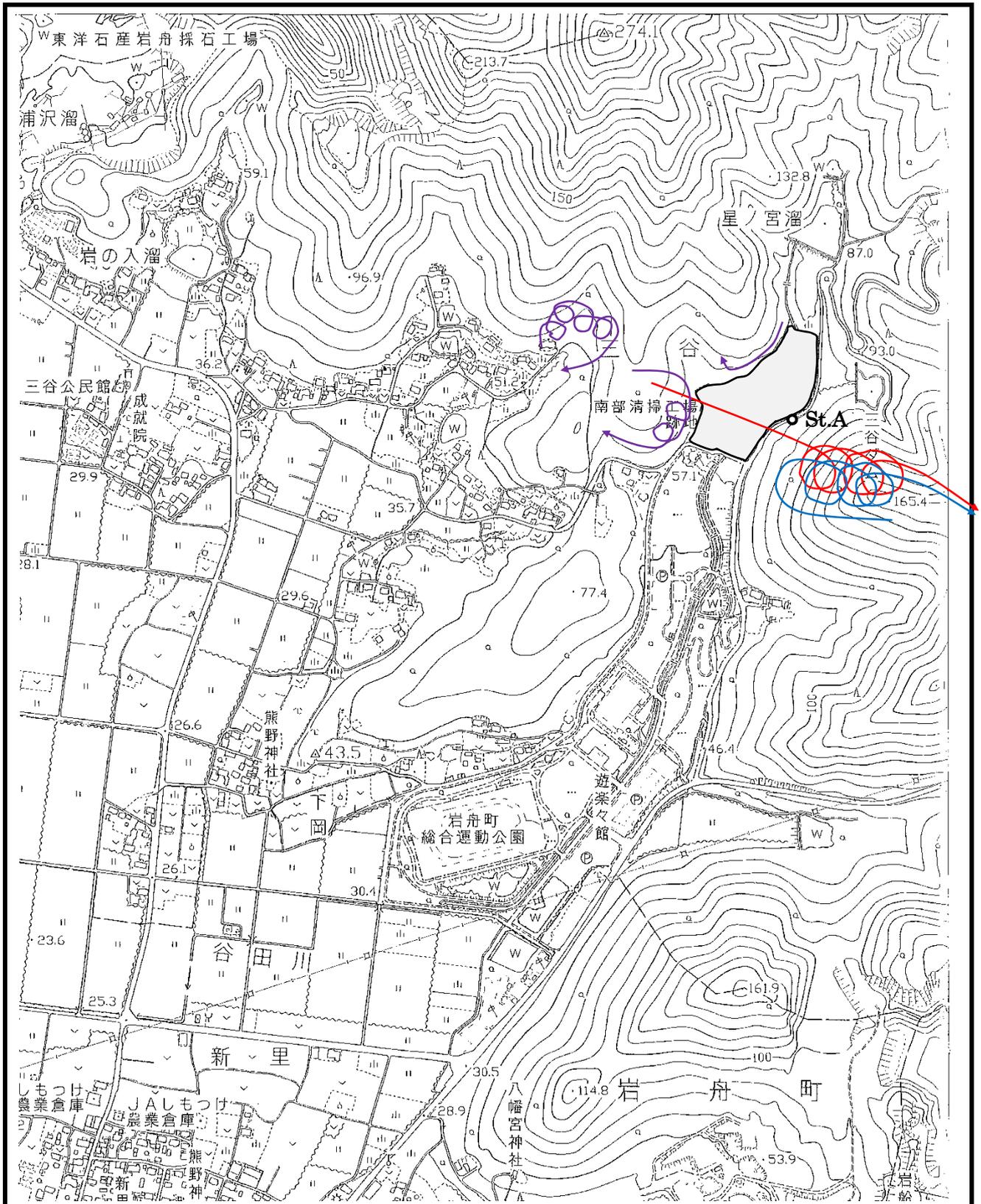
本調査により確認されたことは次のとおりです。

- ①オオタカは平成29年調査で確認された巣を令和2年シーズンは使っていません。
- ②サシバ、オオタカは事業の影響が及ぶと考えられる範囲(敷地境界から概ね200m以内)に令和2年シーズンは営巣していません。

## 7. 重要種保全措置の再評価

本調査の結果を踏まえ「栃木市斎場再整備事業に係る環境影響評価」（平成 29 年度）の猛禽類重要種保全措置を事業実施前に再評価しました。

対象種	保全措置・配慮措置	
	「環境影響評価書」(平成 29 年度)	本調査結果を踏まえた再評価
サシバ (県準絶滅危惧、 国絶滅危惧Ⅱ類)	谷田川東側の樹林地、草地を残置し、カナヘビ、昆虫類などが生息できる草地環境を維持します。 事業実施区域内にサシバが採餌のために止まれる杭を設置します。	本調査ではサシバの事業地内での採餌は確認されていませんが、事業地上空に飛来することもあることから、谷田川東側の樹林地、草地を残置し、カナヘビ、昆虫類などが生息できる草地環境を維持します。 事業実施区域内にサシバが採餌のために止まれる杭等を設置します。
オオタカ (県準絶滅危惧、 国準絶滅危惧)	現在の営巣木の近くに人工代替巣を設置しオオタカが巣を変えるのを誘導します。	現在、オオタカは事業地周辺に生息しない可能性が高く、施設供用後も事業地付近を利用する可能性は低いと考えられることから、人工代替巣を設置する意味は乏しいと思われます。



(凡例)

- : 事業地域
- : 調査定点
- (blue) : サシバ (オス)
- (red) : サシバ (メス)
- (purple) : サシバ (不明)

縮尺

1/10,000

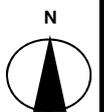
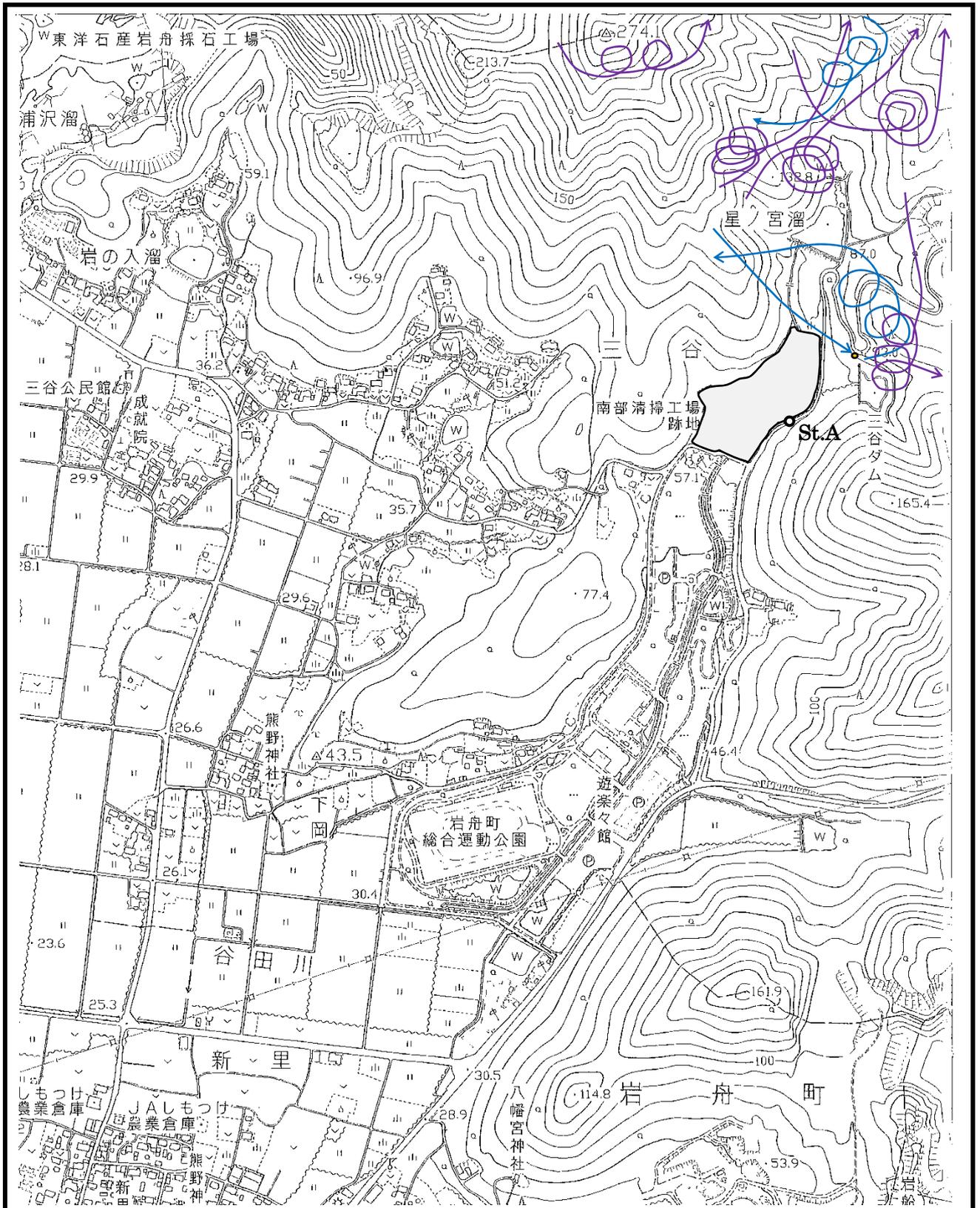
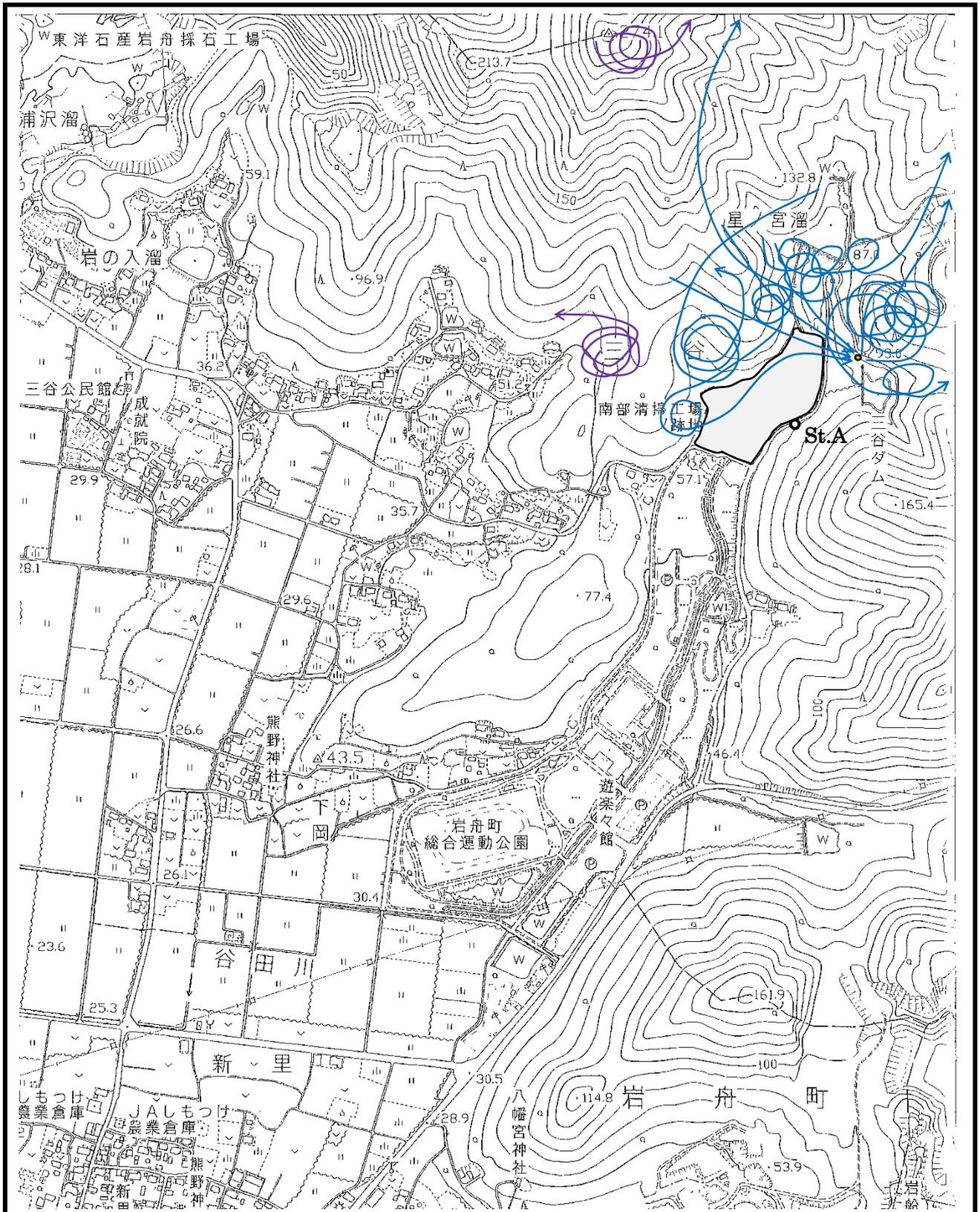


図-1 猛禽類重要種飛翔図①

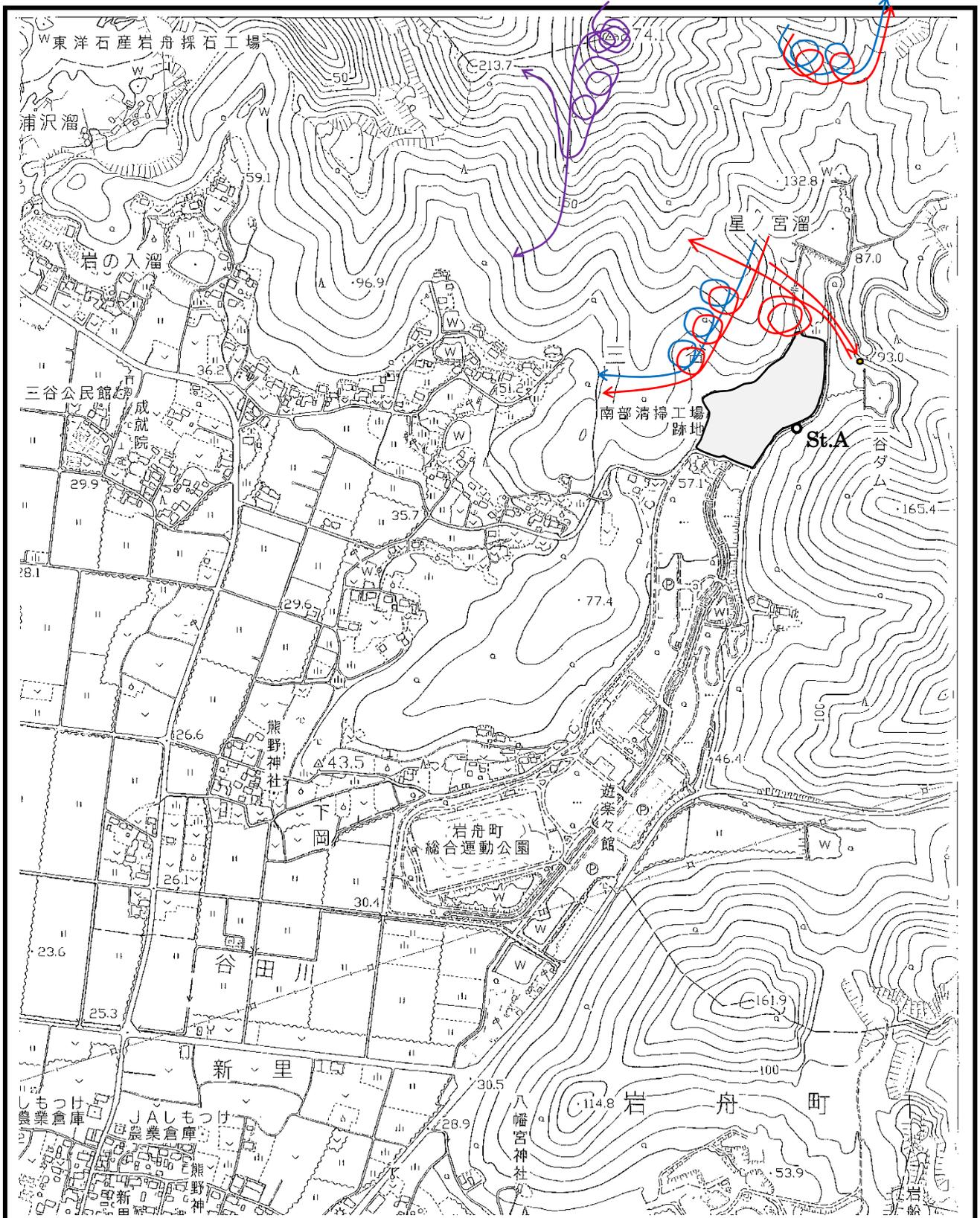
令和2年4月11日、25日



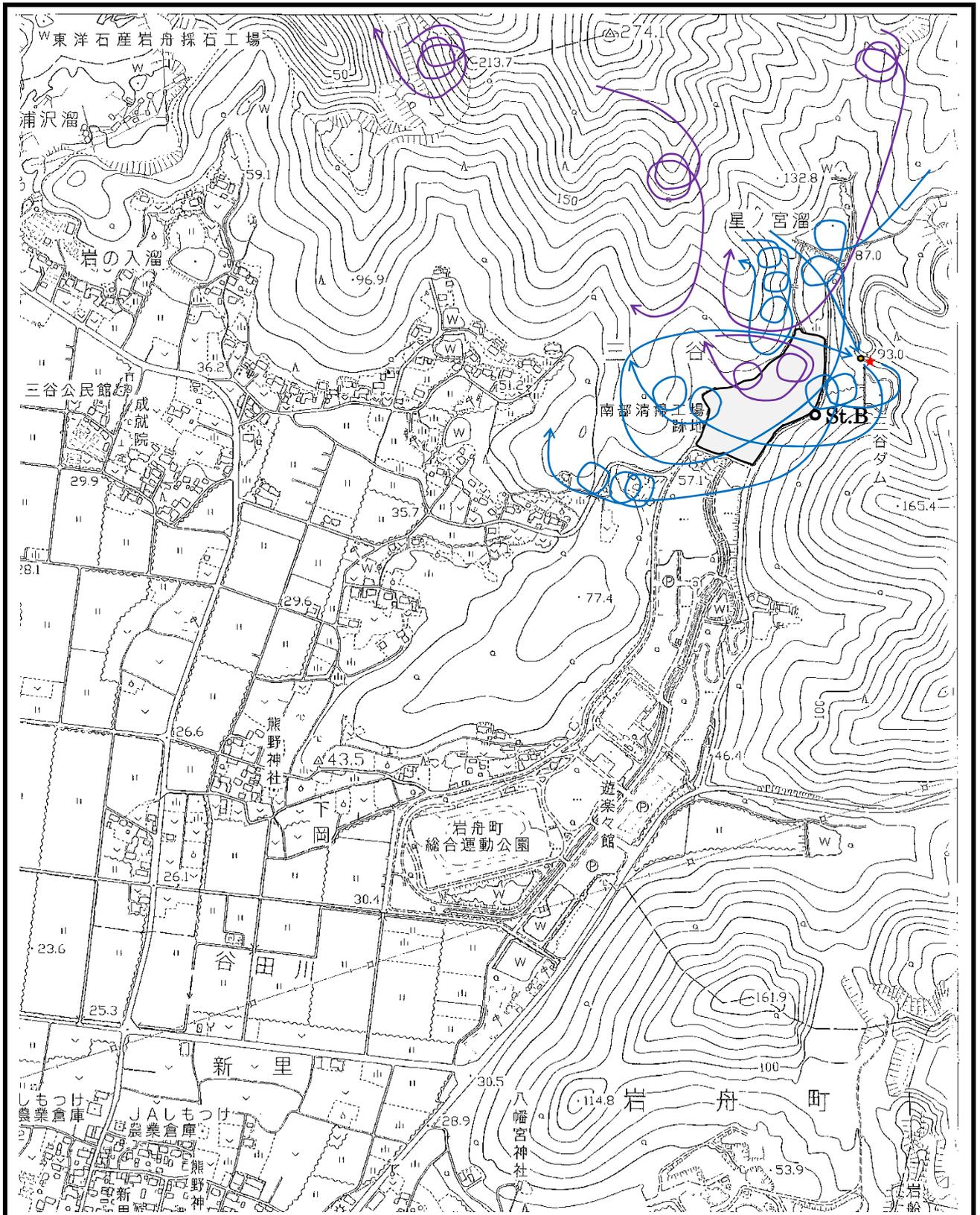
(凡例)  : 事業地域  : サシバ (オス)  : サシバ (メス)  : サシバ (不明)	 : 調査定点  : 止まり (枯木)	縮尺 1/10,000	
	図 2-1-1 猛禽類定点調査② 令和 2 年 5 月 5 日 (1/3)		



(凡例) 	縮尺	1/10,000	
	図 2-1-2 猛禽類定点調査② 令和 2 年 5 月 5 日 (2/3)		



(凡例) ○ : 事業地域 ● : 調査定点 → (Blue) : サシバ (オス) → (Red) : サシバ (メス) → (Purple) : サシバ (不明)		縮尺 1/10,000 
図 2-1-3 猛禽類定点調査② 令和 2 年 5 月 5 日 (3/3)		



(凡例)

- |   |            |   |            |
|---|------------|---|------------|
|  | : 事業地域     |  | : 調査定点     |
|  | : サシバ (オス) |  | : 止まり (枯木) |
|  | : サシバ (メス) |  | : 採餌       |
|  | : サシバ (不明) |   |            |

縮尺

1/10,000

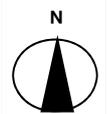
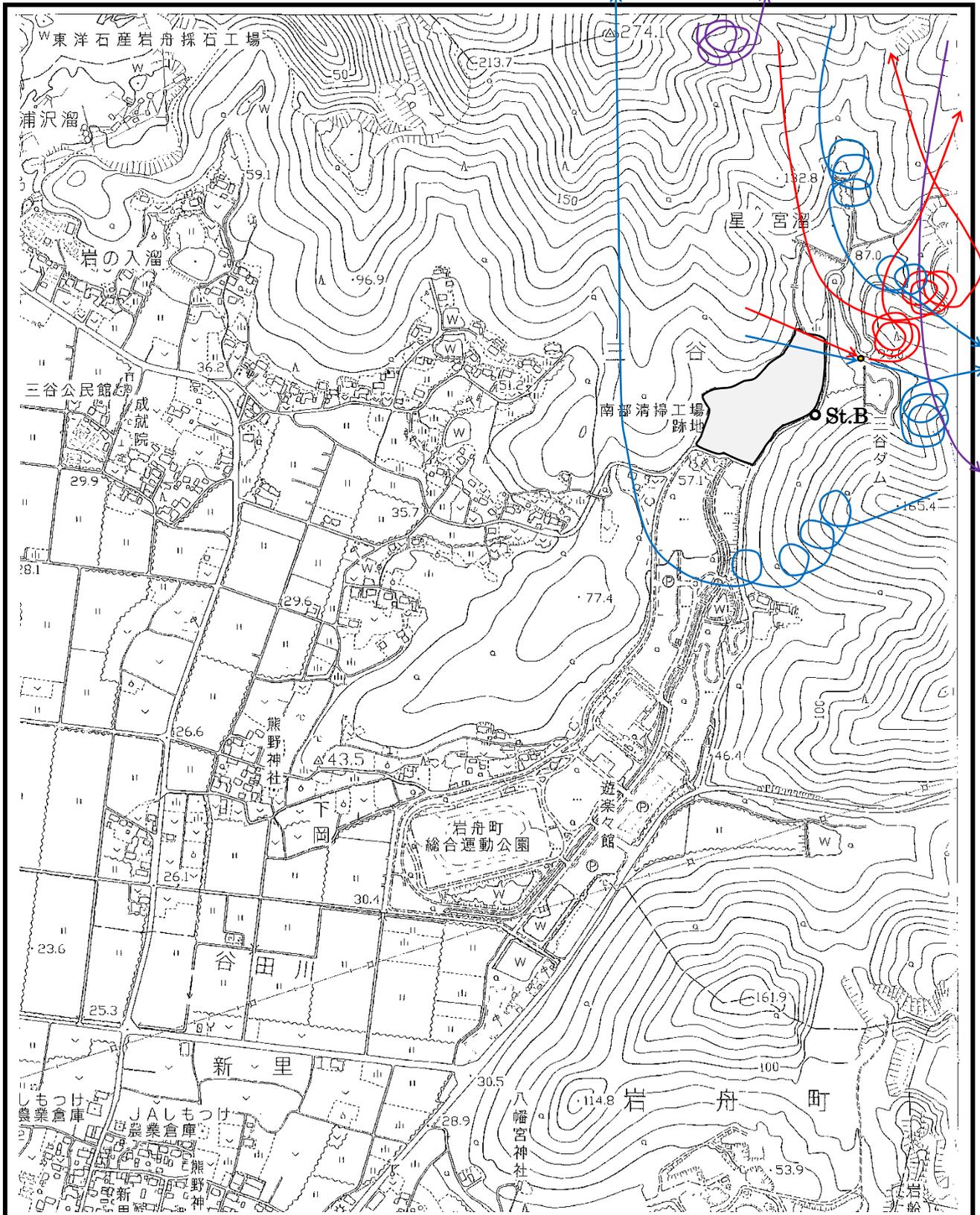


図 2-2-1 猛禽類定点調査②

令和 2 年 5 月 7 日 (1/2)



(凡例)

- |   |            |   |            |
|---|------------|---|------------|
|  | : 事業地域     |  | : 調査定点     |
|  | : サシバ (オス) |  | : 止まり (枯木) |
|  | : サシバ (メス) |   |            |
|  | : サシバ (不明) |   |            |

縮尺

1/10,000

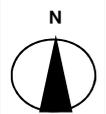
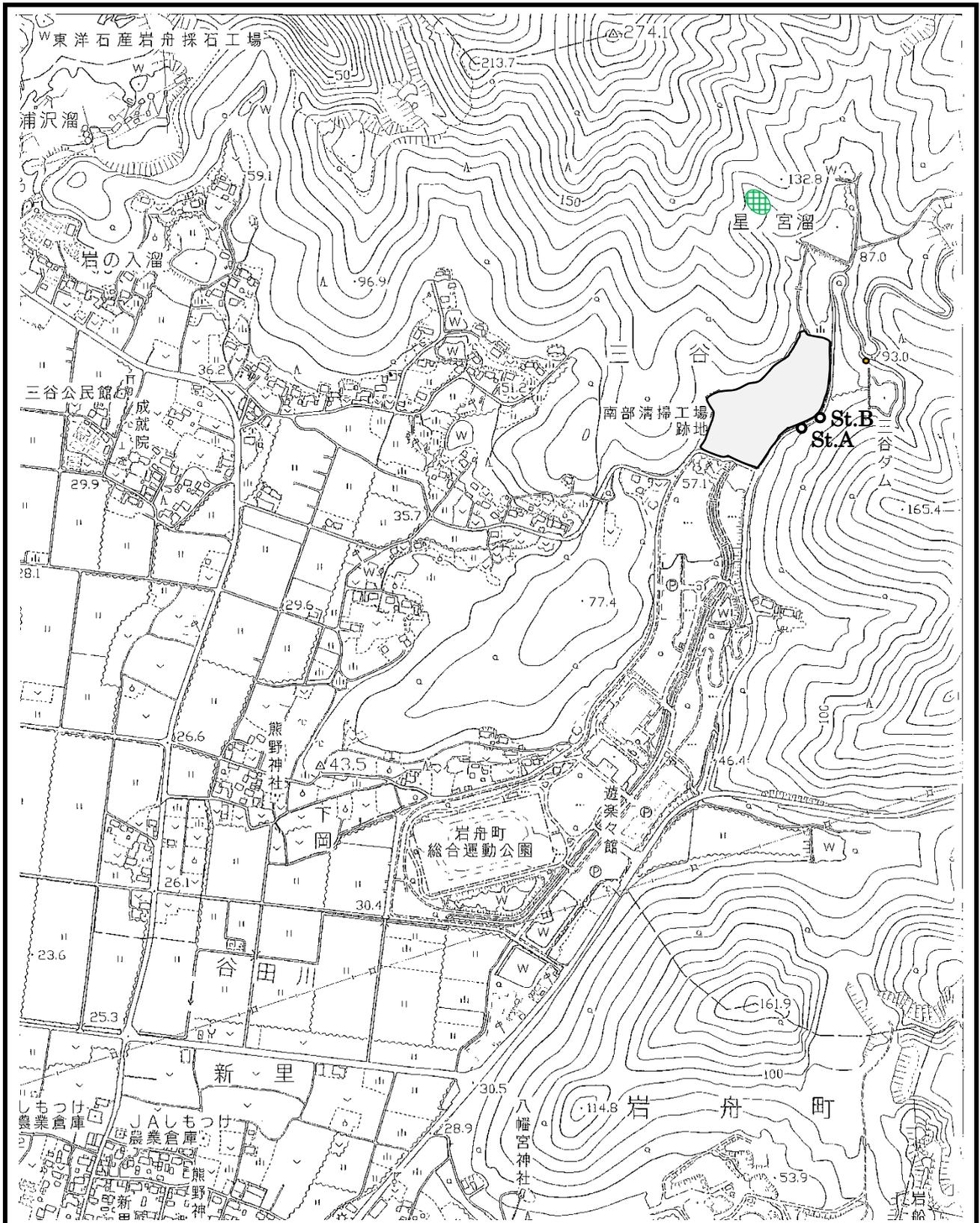


図 2-2-2 猛禽類定点調査②

令和2年5月7日 (2/2)





(凡例)

- : 事業地域
- : 調査定点
- ⊕ : サシバ営巣推定エリア
- : サシバが良く利用する枯木

縮尺

1/10,000

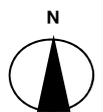


図-4 サシバ営巣推定エリア